

ALPHA Healing Garden クラブ 活動報告 (第76回)

実施日時:2017年11月22日(水) 10:30~14:50

参加者:豊田先生、廣岡先生、中田先生、クラブ員(11)=14名

活動場所:園芸療法ガーデン、東作業室

スケジュール:

10:30~ 花壇維持管理、草取り

12:00~ 昼食をとりながら懇親

14:00~ ミニ講座『稲穂を使ったリースづくり』 講師;山崎さん (13期B)

~実りの秋の賜物“稲穂”やまつぼっくりなどをふんだんに使ったリースづくり~



朝、手のかじかむ季節を迎えました。キャンパス内は冬への備え、落葉樹は赤や黄に色づき、宿根草は地上部を枯らしています。

園芸療法ガーデンでも、たわに実り色づいていたカリが数個残すのみで、今季最後の採り頃です。実習ゾーンでは、スイスチャードやイチゴ苗のみどりが艶やかですが、早春から楽しませてくれるキンセンカやスイートアリッサムなどの苗をトンネルなどで育成中です。

豊田先生などの指導の下で今日の作業は、主に展示ゾーンの植物の冬越しのお手伝い。コバンソウなどイネ科やユリなどの球根類の地上部、ローズマリーなどハーブ類の木質化した部分などの切戻しなどを行いました。

また、この時期目につきやすくなった絡まった蔓性植物の取り除きや、以前のカットで残ったダンチクの斜めの切り口の切り取りなどのきめ細かな作業に加え、実習ゾーン南側では、先生方などで長いトリマーや高枝バサミを用いサワラの生垣の上部の刈り込み、さらに裏側の斜面上部の雑草抜きなど、広範囲での作業を行いました。

今日は、前の日曜日の園芸療法の講演会を飾った豊田先生原作、園芸療法課程修了のOさんの手による素晴らしい寄せ植えが持ち込まれ、ピオラの青の色合いの変化を基調にスギ

ゴケを張り、キンズやミニハボタンなどに彩られた作品を鑑賞しました。この後、管理棟の玄関に展示予定とのこと、機会があれば是非ご覧下さい。

午後は、ラクウショウの落ち葉の赤い絨毯を見て、東作業室へ移動、Kさんの板麩・ゴボウ入りの温かい味噌汁やオカラ入りのケーキ、自家採りのフェイジョアなどを美味しく味わいました。

昼食時、ミニ講座などについて意見交換、いろんなアイデアが出ましたので、年間を通じて大まかな月ごとのテーマ設定に生かせるのではと考えます。

予定より開始が遅れましたが、待望の稲穂のリースづくり。講師に用意していただいた、今では貴重な手刈りの稲穂とその実りの豊かさにまず圧倒されました。手順はわかりやすく実地に説明をしていただきましたが、男性陣は“三つ編みに編んで”の一言で手が止まってしまう、基本から学ぶことになりました。皆さん思い思いに形や彩りを工夫し、クリスマス飾りにもなる和風リースを作る楽しさを満喫できました。

皆さんの協力で、参加者は充実の一日を過ごすことができました。お疲れさまでした。

<世話人:植田(11/24記)・小柳>

今後の予定

<2017> 12/20*

<2018> 1/31** 2/28
3/28

毎月 第4水曜日

ただし、12/20*は第3、1/31**は第5水曜日 (変更の場合がありますので、案内メールでご確認をお願いします)